

2017年度 出雲医療生活協同組合 生協法人になって10周年!

医療・介護・保健を組合員が支える医療生協。おかげさまで10年目を迎えます。

第3弾 在宅療養支援を 進める役割を… 出雲市民病院

ポジションニング(役割)の変化

出雲市民病院のある出雲市は人口17万人の地方都市ですが、島根大学医学部附属病院や県立中央病院などがあり、島根県の高度医療と救急医療の中心地となっています。また福祉施設も比較的多く存在し、県内でも施設の充実の最も進んでいる地域です。

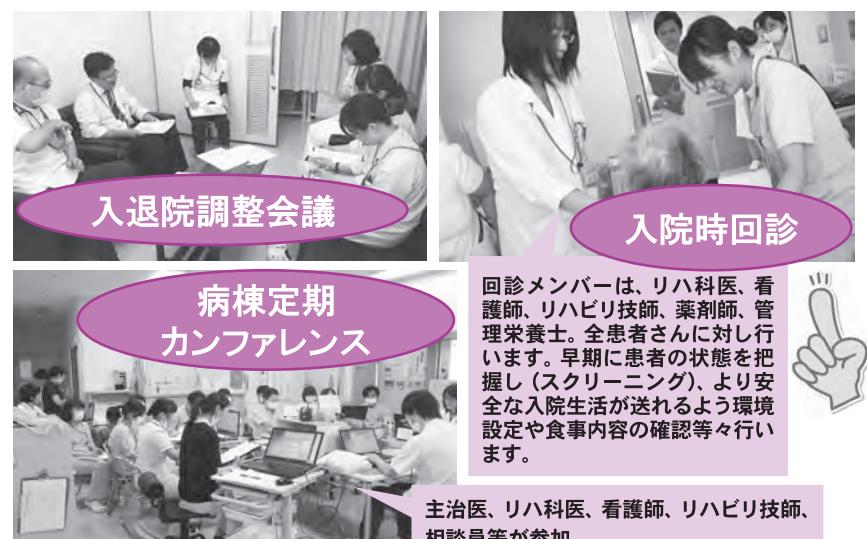
当院も開院当初は急性期一般医療を中心に行ってきましたが、地域の中で次第にポジションニング(役割)の変化が求められるようになりました。急性期病院と在宅・施設をつなぐ役割、いわゆるポストアキュート(急性期経過後に引き続き入院医療をする状態)、サブアキュート(急性期入院医療までは必要としないが、在宅・介護施設において症状の急性増悪した状態)の患者様に対して必要な医療を提供する役割を担うようになってきました。

多職種連携が退院支援の鍵

効果的な入院治療、スムーズな退院支援を行うために、多職種の関わりとチームワークが重要になります。入院時、患者様の状態を把握し安全な入院生活が送れるよう医師、看護師、リハビリ技師、薬剤師、管理栄養士のメンバーで全患者に回診を行います。病棟では定期的に多職種カンファレンスを実施しています。

退院に向けて課題を共有し、具体的なアドバイスや介護保険サービスの導入などを行うため退院支援ミーティングを開催します。必要に応じて患者様の在宅生活を知るために退院前の訪問も行います。

当院は今後も圏域の急性期・慢性期病院、開業医、施設と連携しながら、“治し、支える医療”を実践し、患者様の在宅生活をより豊かなものにするため努力していきます。



入退院調整会議

入院時回診

病棟定期
カンファレンス

回診メンバーは、リハ科医、看護師、リハビリ技師、薬剤師、管理栄養士。全患者さんに対し行います。早期に患者の状態を把握し(スクリーニング)、より安全な入院生活が送れるよう環境設定や食事内容の確認等々行っています。

出雲市民病院の“治し、支える医療”



急性期病院

在宅

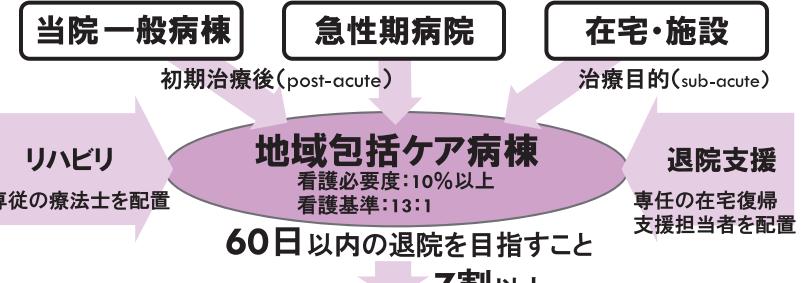
病病連携

病診連携

介護との連携

介護施設等

地域包括ケア病棟とは



在宅・居住系施設への復帰支援

居住系施設… 特養・強化型/加算の老健・サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム・グループホームなど

病院機能評価の認定を受けました

日本医療機能評価機構が行う病院機能評価を受審し、昨年2月に認定を受けました。病院機能評価とは医療の質と安全の向上を目的として、一定の基準に基づき、第三者機関により中立の立場から医療施設を評価していただくことです。病院全体で1年以上も前から準備に取り組みましたが、他者の客観的な視点で評価されることは、非常に貴重な機会となり病院全体の業務改善につながりました。

すこやか NEXT

2017年
5月すこやか増刊号
発行
出雲医療生活協同組合
〒693-0021
出雲市塩冶町1536-1
TEL (0853) 21-2735
ホームページ
www.izumo-hecoop.jp

TQM活動の実施



TQM活動とは、「Total Quality Management」の略で、「組織全体での目標を持った質向上の取り組み」のことです。出雲市民病院では2012年度より取り組みを開始しました。各職場で結成したQC(質改善)サークルが、職場内のさまざまな問題点からテーマを絞り、半年間かけて改善を進めます。締めくくりの発表大会では、それぞれの活動成果を報告し合い、審査・表彰が行われます。この活動を通して、業務改善はもちろん、職場内の結束力や、他職場との連携が強まるなど、良い効果が生まれています。地域の皆様に、「より良い医療」を提供し続けるため、当院では今後もこの活動を継続・発展させていきたいと考えています。



認知症サポーターの育成



「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解した上で、認知症の方や家族を温かく見守り、支援する応援者のことです。現在厚生労働省が「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」の一環として、この「認知症サポーター」養成に取り組んでいます。当院では昨年11月、居宅介護支援事業所のケアマネージャーを講師に招き、医事課職員が養成講座を受講しました。医事課は、病院の顔として、さまざまな患者様と接する部署であることから、今回の講座で得た知識は、日々の業務に多い役立っています。この講座は、今年度より新入職員研修にも取り入れており、新たに35名の認知症サポーターが誕生しました。

患者様お一人お一人に寄り添った、より良い対応のできる職員を育成するため、今後もこうした学習の場を設けていきたいと考えています。

地域の皆様との交流

当院では、患者様と地域の皆様との交流を大切にしています。写真は、昨年7月に出雲商業高校合唱部の皆さんのが、5階病棟を訪問し、演奏を披露してくださった際の様子です。童謡や歌謡曲を織り交ぜていたとき、患者様も一緒に歌うことができました。

職員だけではなく、地域の皆様との関わりを持つことで、患者様の病院での生活は、より豊かなものになります。今後も地域の皆様と共に、より良い病院づくりに取り組んでいきたいと考えていますので、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



無料低額診療を実施します

出雲市民病院では、29年6月より、生活保護などを受けられていない低所得者の方などを対象とした、無料低額診療を実施いたします。長引く不況や、社会保障・医療制度の改悪により、国民生活がますます困窮する中、「お金がなくて医療にかかるない」方のよりどころとなることを目指しています。



医療費や生活についてお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

無料低額診療とは

無料低額診療事業とは、低所得者などに医療機関が無料または低額な料金によって診療を行う事業です。厚生労働省は、「低所得者」「要保護者」「ホームレス」「DV被害者」「人身取引被害者」などの生計困難者が無料低額診療の対象と説明しています。

【全日本医連HPより<https://www.min-iren.gr.jp/?p=20135>】

健康教室の開催

当院の医療スタッフたちが講師となり、さまざまな健康教室を開催しています。昨年は、リハビリ技師による「KARADAづくり教室」を開催したところ大変好評で、今年2月に第2弾が開催されました。



↑ KARADAづくり教室の様子↑



↑過去の外来ミニ教室の様子

山田洋次監督 家族はつらいよ2の鑑賞ご案内

医療福祉生協連より、山田洋次監督映画の鑑賞のお願いがあります。松竹より特別の計らいで医療生協組合員価格で鑑賞いただけるようになりましたのでご案内致します。



■「家族はつらいよ2」
■(C)2017「家族はつらいよ2」
製作委員会
■5月27日(土)全国ロードショー
<鑑賞券> 990円 (非組合員1,100円)
※当生協の組合員とご家族の方限定
(5月1日より取扱開始)
<販売>出雲医療生協事務局(総務課)
TEL 0853-21-2735